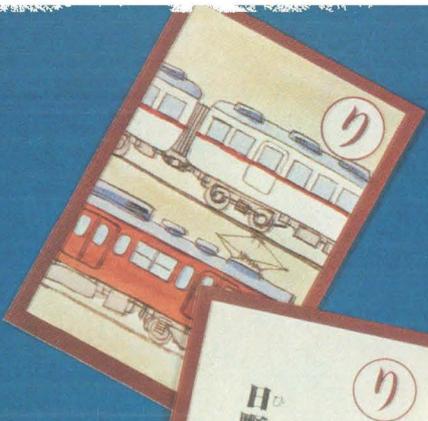


市勢要覧



り 両鉄道
駅七つある
日野のまち



い いちばんは
高輪不動
初もうで

こ 甲州道
日野の渡船は



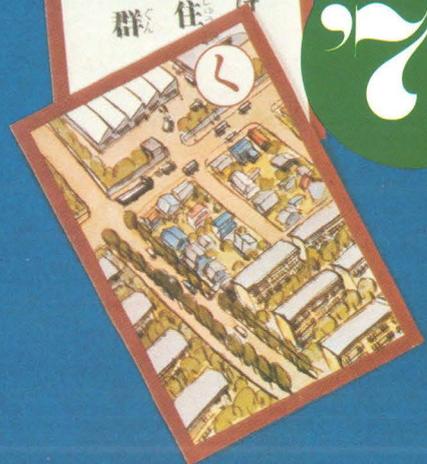
ま 万願寺
江戸より十里の
一里塚

た



く 桑ばたけ
今は住
工場群

か 櫻と菊
日野は緑と
花のまち



めざす都市像

緑と文化の市民都市

- 目次
- 発刊のことば……………1
- 日野市の沿革……………2
- 年表……………2
- 暮らしを守る住宅都市……………3
 - 環境を守り、清流をめざす……………4
 - 調和ある住みよいまちづくり……………5
 - 南と北を結ぶ橋。せまい道、ひろい道……………6
- 市民生活に健康と文化を……………7
 - 守るみどり、つくるみどり……………8
 - 保健と医療……………9
 - ゴミとリサイクル運動……………10
- 暮らしを明るく しあわせに……………11
 - 働きながら子供を育てる……………12
 - おとしよりに生きがいのある暮らしを……………13
 - 身障・難病にささえを……………14
- 人間性をはぐくむ教育と文化・スポーツ……………15
 - 環境にめぐまれる教育施設……………16
 - 幼児教育・図書館・公会堂……………17
 - 活発なスポーツ活動、リクリエーションと
体力づくり……………18
- 自然と頭脳と技術で活気のある産業を……………19
 - 活気と魅力の商店街……………20
 - 花のあるまち・実のなるまち……………21
 - 工業生産活動……………22
- 市民参加の市政をめざして……………23
 - 自治の発展を…市民自治学園……………24
 - 市政についての情報センター……………26
 - 市政図書室で市刊行書が求められます……………27
- 市議会……………28
- 資料……………30～36



私たちのまち日野市は、ことし市制17年目を迎えました。いま人口は当初の3倍にも当たる14万2千人、急成長ながらたくましく青年期を迎えようとしています。地方財政のきびしさの中で、福祉に教育に、生活環境に今日の市民生活を守りながら明日のよりよい文化都市をつくるために努力しています。

日野市の特色は緑の丘陵や、川のある自然環境の上に市民生活の“まち”があることです。この自然を大切にしながら、生活の中に文化をきづき市民の力で心のかよう地域社会をつくるよう目ざしています。健康で文化的な市民のまちと言えるまちづくりです。

このたび新しい市政要覧をおくります。明日の日野市をつくるために、今日の日野市をご紹介しますものです。

市政への参加と提言をお待ちしております。

昭和55年3月

●市章

日野市の市章は、日野の日の字を丸くして、炎のように燃えさかり発展する様を象徴しています。

昭和38年11月制定

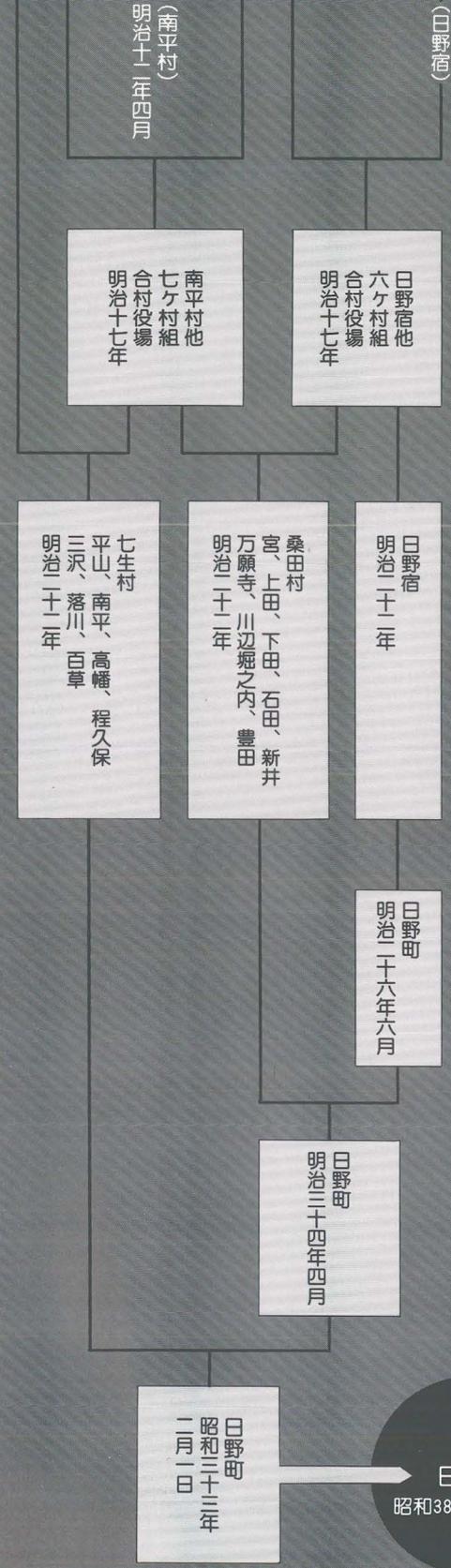


日野市長
森田 喜美男

●日野市の沿革

●年表

日野本郷 宮田村 上田村 下田村 石田村 新井村 万願寺村 川辺堀之内村 豊田村 平山村 高幡村 程久保村 三沢村 落川村 百草村



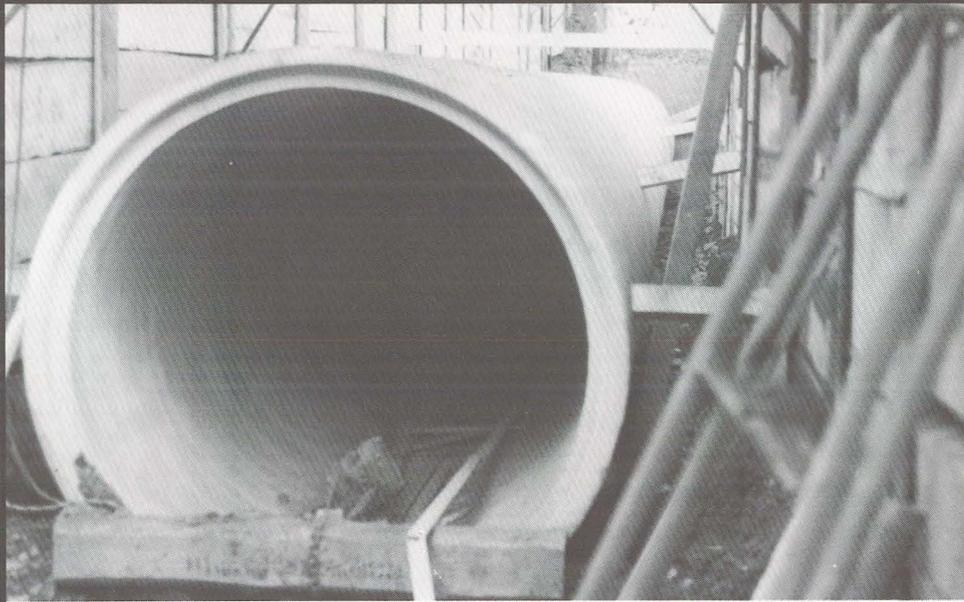
- 先土器時代(早期) 約15万年前、多摩丘陵に人々が住みはじめる。
- 縄文時代(中期) 約1万年前、多摩丘陵で狩猟をしながら移動生活をする。
- (後期) 約4,500年前、日野台地、多摩丘陵の平地に集落ができる。
- 弥生時代(末期) 約3,500年前、日野の低地にも人々が移り生活する。
- 古墳時代 日野台地の神明上、吹上地域に集落ができる。
- 飛鳥時代(前期) このころ集落が増加する。
- 712 和銅5 台地のはげに横穴古墳ができ、このころ武蔵国ができる。
- 713 和銅6 武蔵国分寺ができる(現国分寺市)。このころ七ツ塚ができる。
- 935 承平5 日野の名の起り伝説、飛火野が火野となり日野に改められる。
- 1051 永承6 このころ日野の西党をはじめ武蔵七党が発生する。
- 1184 寿永3 源頼義奥州下向の際百草八幡宮に戦勝の祈願する。
- 1250 建長2 平山季重義経に従い宇治川、一ノ谷の合戦に参戦。
- 1342 康永元 百草八幡神社の阿弥陀如来坐像に建長2年真慈悲寺の銘あり。
- 1455 享徳4 高幡不動堂山下の現在地に再建。不動堂と仁王門国重文。上杉憲顕、足利成氏と立川河原で戦い憲顕敗れ高幡寺で死す。
- 1563 永禄6 このころ日野の佐藤隼人、日野用水を開削する。
- 1605 慶長10 このころ甲州街道が整備され、日野宿定まる。
- 1684 貞享元 日野宿助郷37ヶ村定まる。日野渡船場、日野宿経営となる。
- 1723 享保8 日野台地一帯の開墾はじまる。このころ養蚕はじまる。
- 1827 文政10 日野宿を寄場として46ヶ村の組合村が組織される。
- 1863 文久3 上方歳三ら京都において新撰組を組織する。
- 1866 慶応2 日野農兵隊多摩川築地河原で、一揆支隊を撃退する。
- 1869 明治2 新撰組副長土方歳三函館戦争で戦死。
- 1871 明治4 神奈川県に編入。
- 1872 明治5 寺子屋にかわり日野郷学、郷学校開校する。学制頒布。
- 1873 明治6 日野学校、潤徳学舎ら日野最初の小学校が開校する。
- 1874 明治7 日野郵便局開局する。
- 1878 明治11 多摩郡が東西南北の4郡に分割され日野は南多摩郡に属す。
- 1890 明治23 甲武鉄道(現中央線)日野駅が開設される。
- 1893 明治26 神奈川県から東京府になる。
- 1901 明治34 甲武鉄道豊田駅が開設される。
- 1916 大正5 東京電燈株の電灯がとまりはじめる。
- 1923 大正12 浅川に高幡橋完成。関東大震災。
- 1925 大正14 玉南鉄道(現京王線)開通。4駅を置く。
- 1928 昭和3 電話がはじめて開通する。
- 1934 昭和9 このころより市内に大工場ができはじめる。
- 1945 昭和20 農地改革がはじまる。
- 1958 昭和33 日野町、七生村合併。多摩平団地入居開始。都立多摩動物公園開園する。
- 1961 昭和36 日野町立病院開設する。
- 1963 昭和38 市制施行。全国55番目。人口55,595人。
- 1967 昭和42 中央高速道路、調布八王子間開通(市域延長4.6km)。
- 1969 昭和44 都立日野保健所開設される。
- 1970 昭和45 市の人口10万人突破。カドミウム汚染米発見される。
- 1973 昭和48 市制施行10周年の記念事業として市の花に菊、市の木に櫻が選定される。
- 1974 昭和49 市営水道事業が東京都に統合される。
- 1977 昭和52 市役所庁舎新築移転。

くらしを守る住宅都市

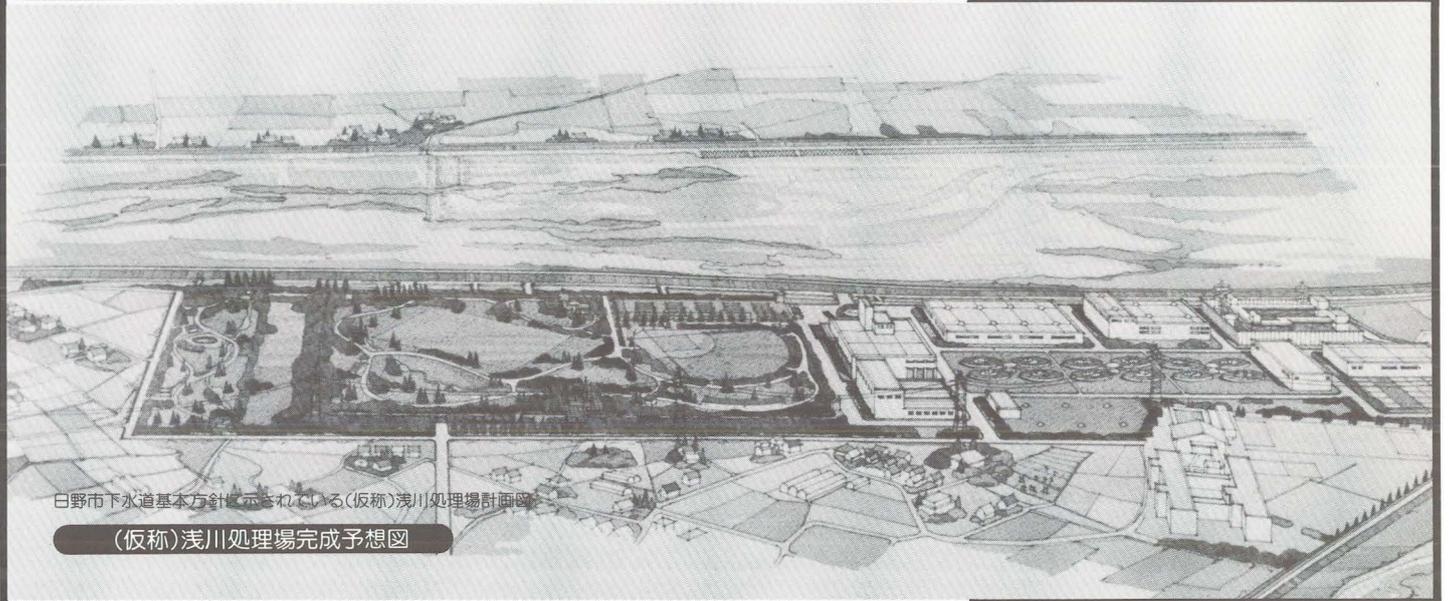
- まちづくりの基本的方向を定めて／日野市基本構想●公害防止により市民の健康を過ごし環境を保全するために／日野市環境保全に関する条例
- わかりやすい地番の整理を推進するために／日野市町名地番整理審議会条例
- 良好な住居環境を守るために／日野市建築協定に関する条例●日野市住みよいまちづくりのために／日野市住みよいまちづくり指導要綱



環境を守り、清流をめざす



雨水排水のための排水管理設工事



白野市下水道基本方針に示されている(仮称)浅川処理場計画図

(仮称)浅川処理場完成予想図



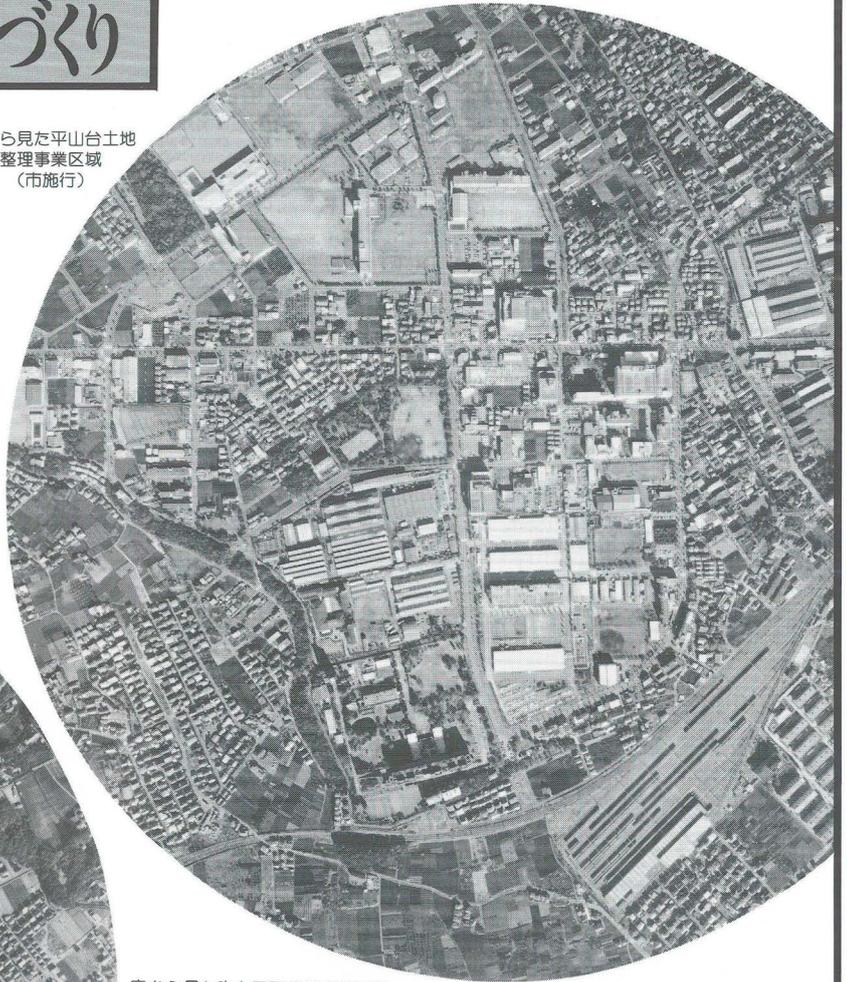
生活排水を処理する多摩平下水処理場

環境のよい住宅都市には欠かすことのできない施設に下水道があります。市では昭和53年10月「日野市下水道事業基本方針」をたて、昭和70年の目標年度に向けて難問題を克服しながら計画をすすめています。下の写真はこの計画の一部で浅川処理場(仮称)の完成予想図です。右下は浅川で、その上の白い建物は都立日野高校、上部は多摩川です。

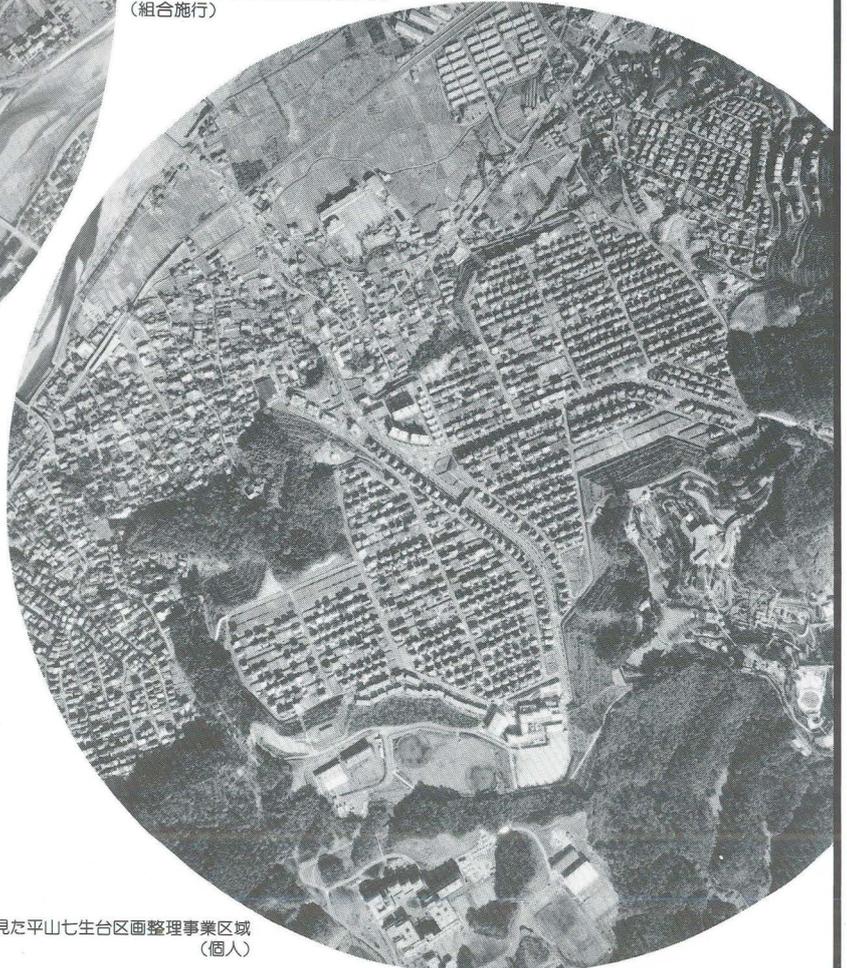
調和ある住みよいまちづくり

国鉄豊田駅の北側に広がる134haの土地(多摩平地区)に区画整理事業が始められたのは、昭和32年でした。これは日本住宅公団によるもので区画整理事業の契機となったものです。今までに8地区が計画され、5地区が完了しています。市では区画整理事業が「住みよい町づくり」の有効な手段の一つであると考えているので、この基本的な考え方にそって計画を進めています。

空から見た平山台土地
区画整理事業区域
(市施行)



空から見た吹上区画整理事業区域
(組合施行)



空から見た平山七生台区画整理事業区域
(個人)

土地区画整理事業

土地区画整理事業名	面積 (ha)	施行者
豊田	133.3	公団(完了)
平山	128.0	日野市(完了)
吹上	27.5	組合(完了)
神明上	133.0	日野市(実施中)
四ッ谷下	15.0	日野市(完了)
京王平山七生台	51.4	個人(完了)
万願寺	256.5	日野市(準備中)
新坂下	77.0	日野市(未定)

南と北を結ぶ橋

せまい道広い道

市内の浅川にかかる橋

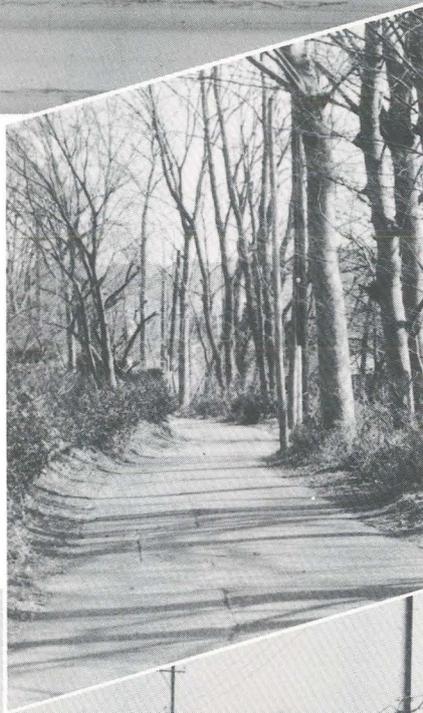
橋名	延長(m)	幅	建設年	管理者
滝合	120.0	7.7	昭43	日野市
平山	132.8	16.0	架替中	東京都
一番	131.4	8.0	昭38	日野市
高幡	131.3	16.0	昭52	東京都
新井	136.0	7.5	昭35	東京都



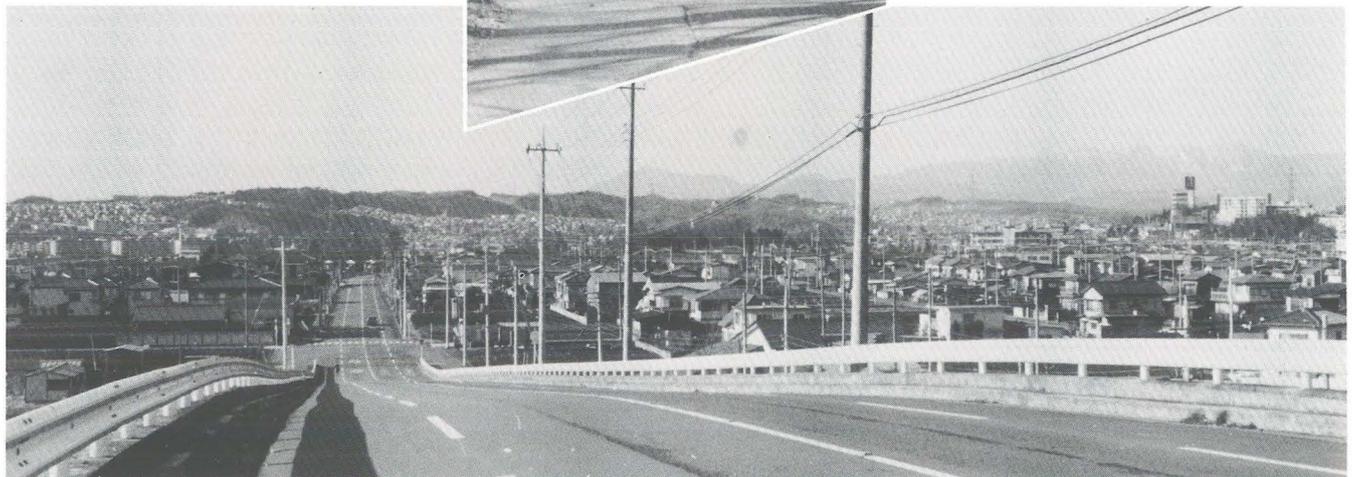
近代的な橋に生れかわった高幡橋
(上流左岸上田地区より望む)

市のほぼ中央部に一級河川の浅川が西から東へ貫流しています。この川に5つの橋があり、広く市民から親しまれています。夏には夕涼みの散策に、また冬には、カモなどの野鳥観察の場所にもなっています。このほか多摩川にかかる日野橋(国道20号線)、中央高速道路の自動車橋、八王子境の浅川にかかる長沼橋(八王子)があります。

せまいながらも、温かみのある道路
—市道補助13号線(平山・大和田線)—



市内には国道(20号線、通称甲州街道)が1路線と、都道が9路線あります。市道は延長が約382kmに達し道路面積の84%が改良済みとなっています。これらの道路の内主要なものは都市計画道路として拡中、新設が計画されています。路線数は、国道、市道を含め25路線でこの総延長は57,577mあり、改良新設済み4、未完了が12となっています。またこの計画達成率は約32%です。



都市計画道路2・2・6号線

市民生活に健康と文化を

- 市民生活と文化の向上に功労のあるものの業績をたたえて／日野市表彰条例
- あき地の雑草等の除去れい行のため／あき地の環境保全に関する条例
- みどりを守るために／日野市緑化推進条例、みどりの保護育成に関する要綱
- 清流を守るために／日野市公共水域の流水の浄化に関する条例
- 個人のし尿浄化槽の機能保全のために／し尿浄化槽清掃作業経費の住民負担軽減措置に関する要綱



守るみどり、つくるみどり

みどりは生活、防災、景観等、あらゆる面で市民の大切な宝ものと言えます、市ではみどりを守るため、緑地を買い入れたり、神社や屋敷をとりまく樹林や樹木を保護するため、所有者に管理費の一部を補助する制度を定めるなど緑の保全につとめています。



いい苗木だ！ 早く植えようっと……苗木の無料配布風景

豊田地区の緑地保全地域



菊(市の花)の苗の配布に列をつくる花すきの市民

失なわれた緑を積極的につくり出し、みどりと市民生活が一体となった環境をつくるため、苗木の配布や、公団、学校、道路などの緑化を進める一方、木や花を円滑に供給するために、市営苗圃7カ所開設し、現在54種、1600本の苗木と、市の花である菊苗の育成をしています。昭和54年秋には、市民、老人クラブ、小中学校などに20,000本の菊苗を配布しました。また市内の自然環境を知ってもらうために、植物ガイドブック、動物ガイドブックを発刊し知識の普及にもと取り組んでいます。



保健と医療

市民の医療を確保するとともに、地域医療の中核的な役割をめざして、市立総合病院（142床）を経営しています。また医師会の協力によって、3カ所の救急病院で夜間の急患と休日の診療に対応し、土、日曜、祝日、年末年始の夜間の応急診療を目的とした、休日準夜診療所を開設して市民の要請にこたえています。このほか三種混合を始め、麻疹、風疹等予防接種を行い年令、性別により結核健康診断、子宮ガン検診、胃の集団検診、老人健康診査等を実施しています。

健診風景

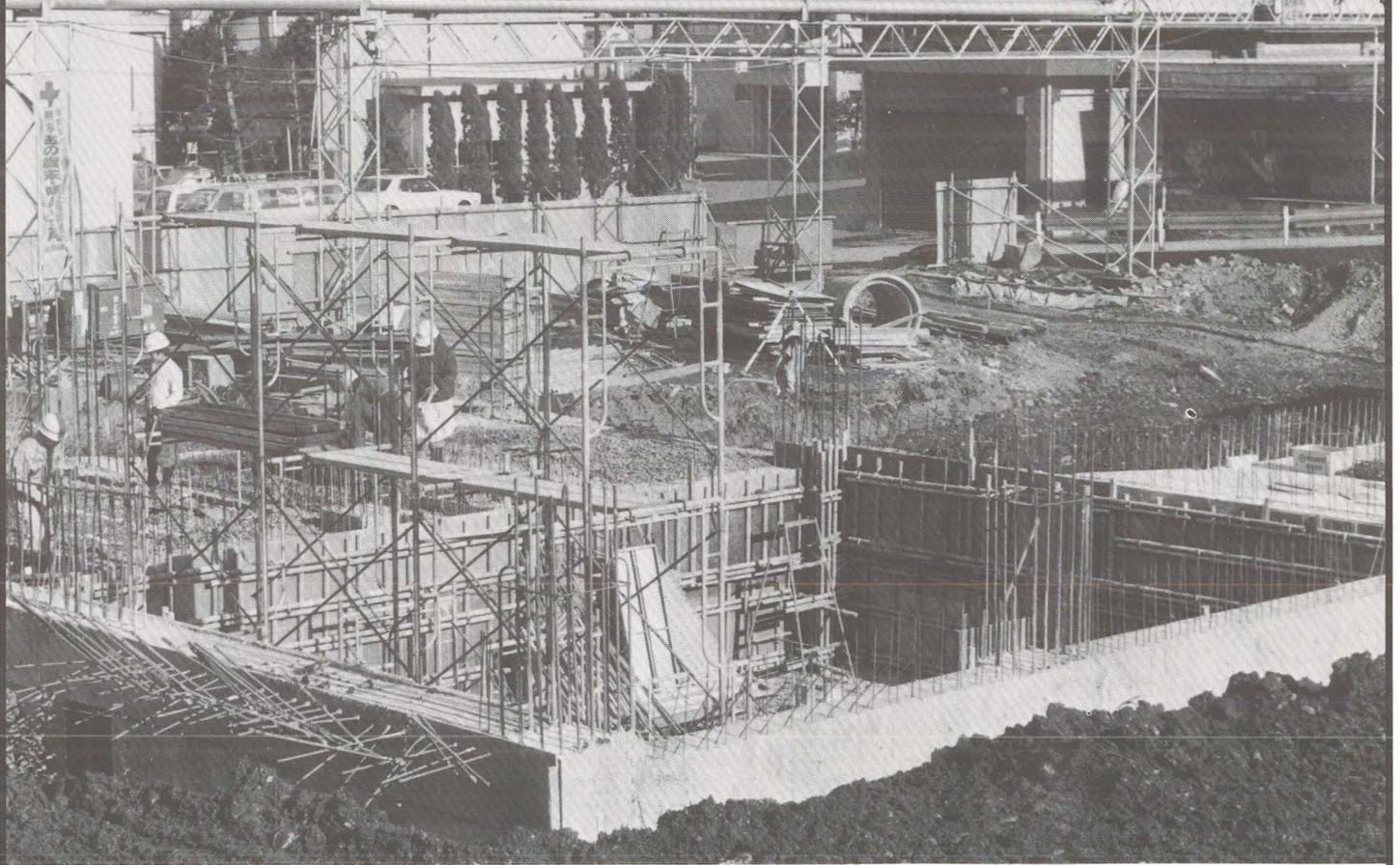


泣かないね……良い子だ……
予防接種風景



市立総合病院

ゴミとリサイクル運動



新鋭の施設整備が進む衛生処理場

人口が増加すれば、ゴミも当然増えますが、本市では10年前に比べ人口が倍になり、ゴミは約3倍に増えました。このため処理施設も増設改良を重ね、現在では240t/日の焼却炉や、公害防止のための諸施設が整備されています。また省エネ、ゴミの資源化の情勢から粗大ゴミを5種類に選別処理できる50t処理可能な高性能の施設を建設中です。

廃物の再利用、
ごみも少くなり、そして……



手ざわよく集収される大量のゴミ
減少運動に手をかけて下さい……



古いてんぷら油が……石けんになるなんて
一油公害を防ぎ、廃物利用で生活を豊かに

昭和53年度ゴミ処理量	40,991 t
可燃物	31,158 t
残灰・不燃物	9,833 t

昭和53年度市民1人当り処理量	
1日	799 g
年間	292 kg

くらしを明るくしあわせに

- 高令者の福祉向上のために／日野市高令者福祉条例 ●高令者と重度身障者の住居環境改善のために／日野市住宅改良資金融資条例
- 乳児保健の向上のために／日野市乳児医療助成に関する条例
- 心身障害者の福祉増進のために／日野市心身障害者(児)福祉手当支給条例



働きながら子供を育てる

保育園(大久保)

児童館(平山)

幼 児 の 保 育

幼稚園(第6)

学童クラブ(百草児童館内)



おとしよりに生きがいのある暮らしを



腰もびます——ゲートボール



高齢者事業団の仕事ぶり、若い人に負けません。

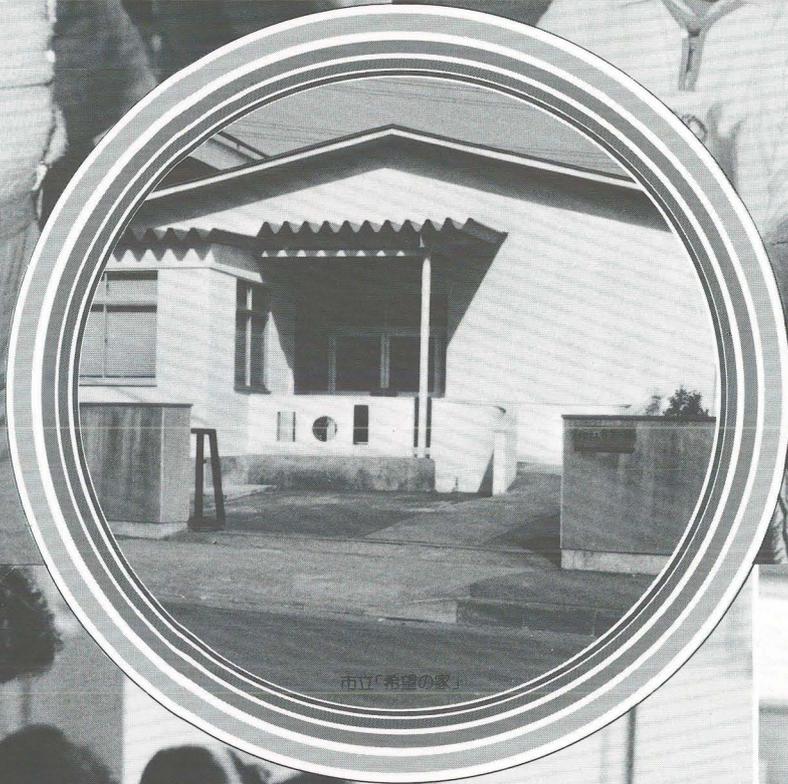


敬老会

身障・難病に ささえを

市内の精神薄弱児および身体障害児、これに準ずる人達の福祉増進のため昭和48年市では「希望の家」を開設しました。これは在宅障害児の自立更生のための訓練を行うとともに、保護者の負担軽減を目的としています。また市民団体、医師会、難病専門医師団が協力して難病検診が地域ケア活動としてすすめられているほか、市民団体や各分野の専門家によってチームが結成され障害児検診、相談事業が行われています。

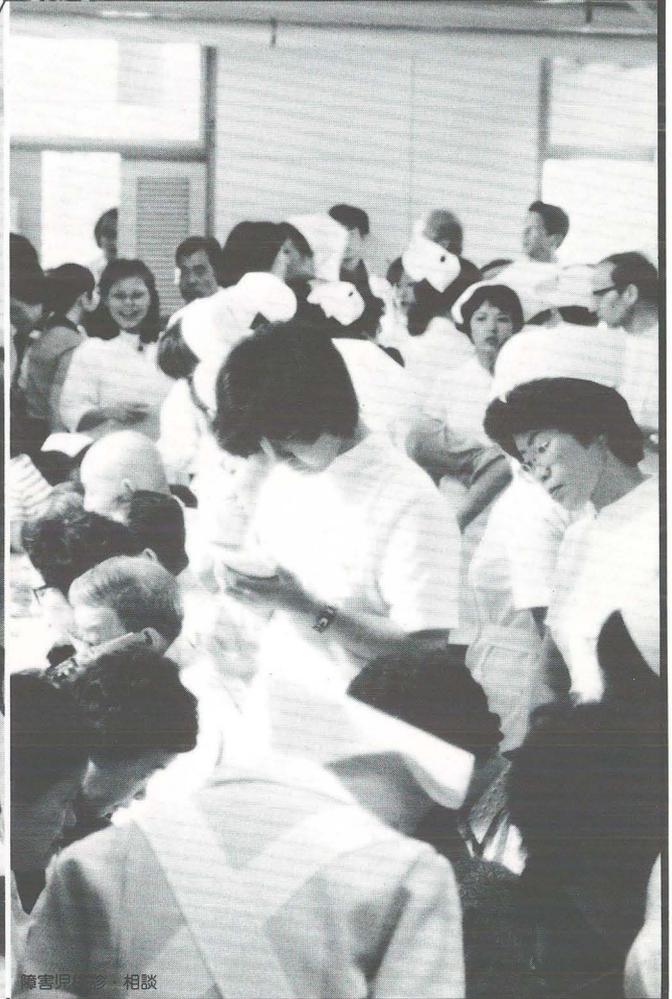
「希望の家」室内スナック



市立「希望の家」



多くの善意の人達に支えられて実施されている難病検診



障害児検診・相談

人間性をはぐくむ、教育と文化スポーツ

●若い母親の乳幼児教育のために／乳幼児教育通信講座
●土をこねて、つくるよろこびと創造性をゆたかにする「やきもの」／市営陶芸窯（公民館）
●なんでも、どこでも、誰にでもをモットーに／市立中央図書館、分館、移動図書館「ひまわり号」



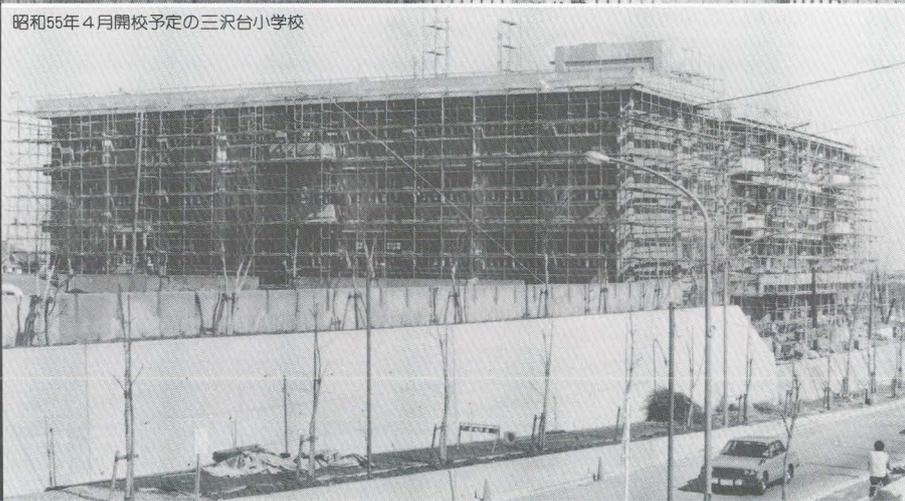
土をこね、創造性をゆたかに育てる……（平山台小学校の陶芸指導）

環境にめぐまれる教育施設

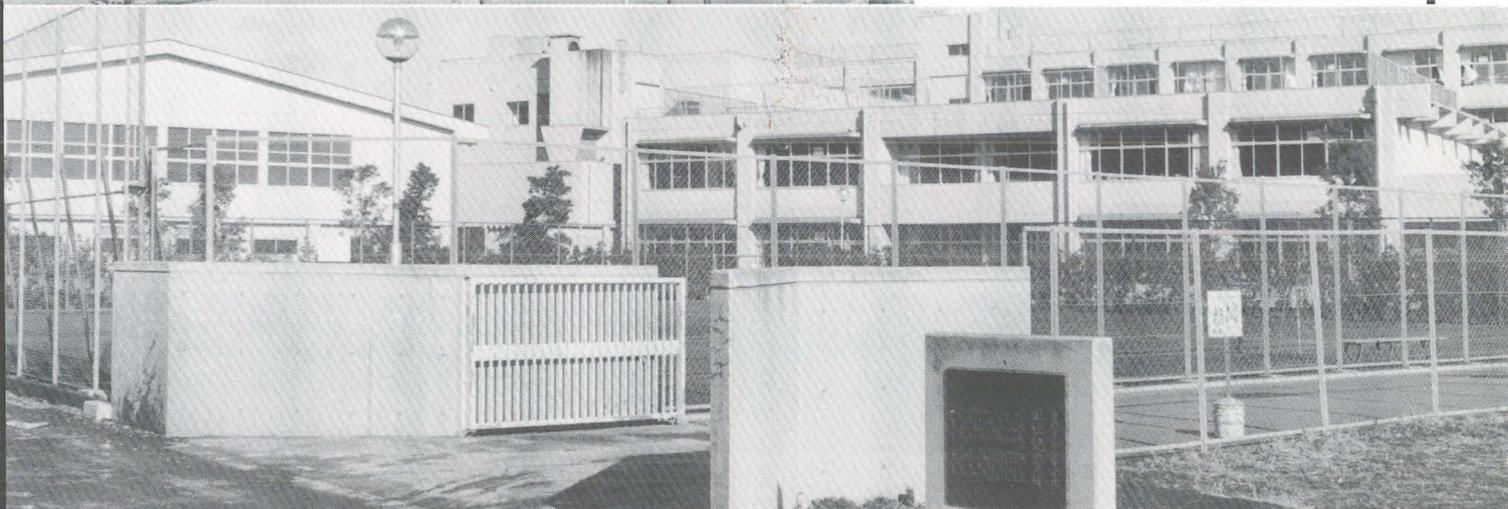
昭和54年開校の東光寺小学校



昭和55年4月開校予定の三沢台小学校



昭和52年開校の三沢中学校



昭和55年4月開校予定の大坂上中学校



この5年間に小学校では74学級、3,027人の児童が増加しました。これは昭和50年を100とすると、1.24倍になります。また中学校では38学級、1,581人の生徒が増加しこれは1.37倍になります。このような児童生徒の増加に伴い市では教育施設として5年間に幼稚園2園、小学校4、中学校2校を建設しました。これらの教育施設の建設費は約145億に及び市財政の中でも大きな割合を占めております。特に施設用地の取得は、今後場所、面積、地価等、いずれもきびしい条件におかれ、一層困難になるものと思われます。

現在市立の教育施設は、幼稚園6、小学校18、中学校6となっていますが近々に、小、中学校各1校が開校予定です。また幼稚園を除けば、小、中学校いずれも校舎は鉄筋100%、大小プール、屋内体育館等教育施設はよく整備されています。

市内の高校、大学

都立日野高等学校

都立日野台高等学校

都立工科短期大学

実践女子短期大学

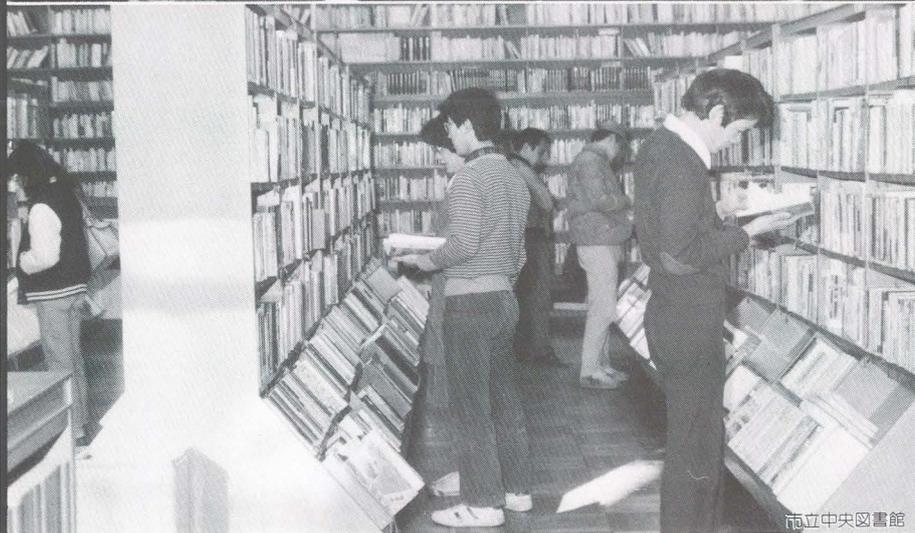
実践女子大学(教育学部)

明星大学

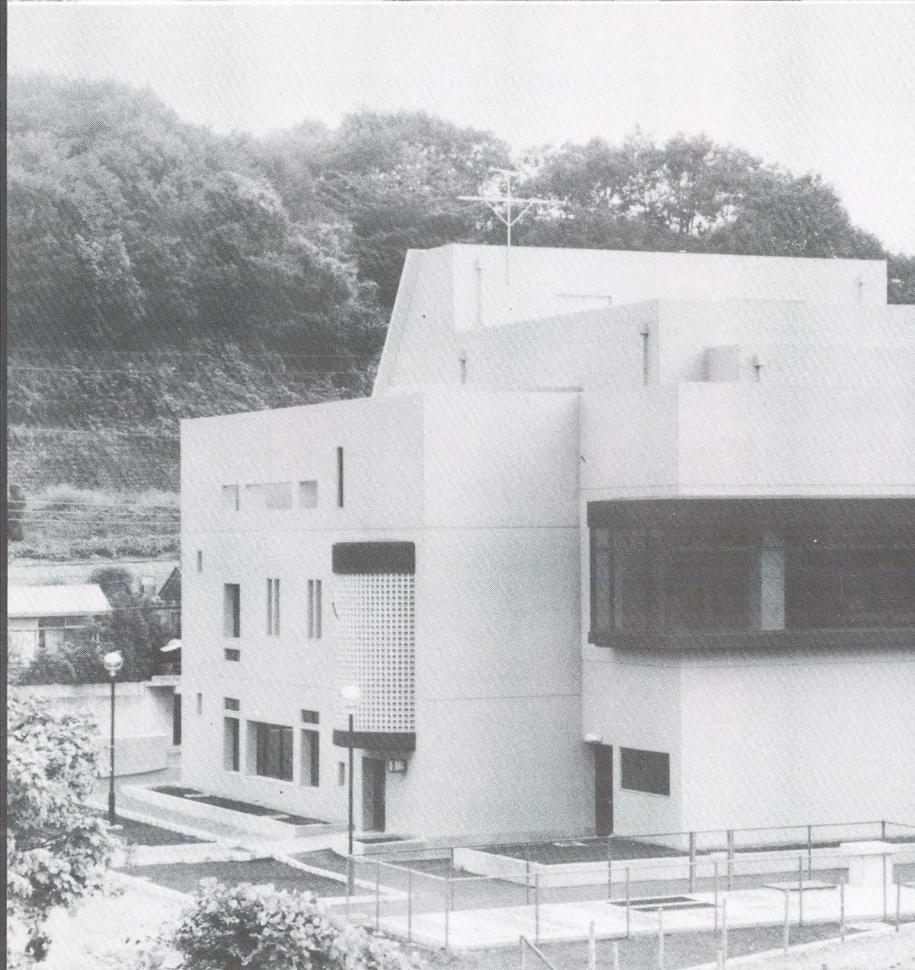
幼児教育・図書館・公会堂



乳幼児教育通信講座のスクーリング風景



市立中央図書館



幼児教育

幼児教育の一環として、市では市立の幼稚園6園を運営するほか、家庭教育通信講座を開講しています。これは3～6才児の教育について、在宅でも学べるダイレクトメール方式によって若い母親が学習できる制度です。年齢に応じた教材を年4回通信するほか、大学講師によるスクーリングが行われます。

市立図書館

市立図書館は昭和40年ひまわり号と呼ばれた移動図書館からスタートし、既存の建物を利用しながらユニークな運営方針のもとに発展的に拡大して現在に至っています。中央館の蔵書は約11万冊、7つの分館の蔵書は約8万冊、移動図書館(ひまわり号)5万冊を容れて、貸出冊数、利用者数共に全国的にみて最も高い水準にあります。現在高幡図書館を建設中で近々に開館される予定です。

日野市立七生公会堂

昭和54年11月に落成した七生公会堂は、延面積1,326㎡、座席300席とやや小型ですが、音楽会、演劇、種々の発表会等開館以来利用度が高く、文字どおり市民の文化の活動の場としての役割を効率的に果たしています。



七生公会堂 公会堂の舞台(文化祭の催し)

活発なスポーツ活動

リクリエーションと体づくり



日野市少年キャンプ村

成人から幼児まで楽しめる市民プール



市立南平体育館(南側より)



南平体育館の卓球競技スナップ

自然と頭脳と技術で活気のある産業を

- 中小企業者の育成・振興のために／日野市中小企業事業資金貸付条例
- 生産緑地の保全により営農意欲の持続と生鮮食料品等の供給促進をはかるために／日野市生産緑地保全要綱
- 新しい農業の道をひらくために／日野市農業対策事業補助金交付要綱



高度の園芸技術で栽培される
美しい洋ラン

活気と魅力の商店街

家に玄関があるように、まちにも玄関があるとすれば、代表的なものとして、日野駅、豊田駅、高幡不動駅の3つをあげることができます。また、その駅周辺にはそれぞれ商店街が発達し、にぎわいをみせています。

高幡不動駅前商店街

京王線高幡不動駅周辺から高幡不動周辺にかけて、一帯の商店街で歴史的には門前町の形態の中で発達してきたものです。現在は動物園、団地、大学等の出現で電車利用者が驚異的に増大し、その影響で盛況となっています。特に春秋の行楽シーズンや毎月28日の不動尊月例祭には、にぎわいをみせています。

日野駅周辺商店街

甲州街道筋にそって発展してきた商店街で、国鉄日野駅が明治半ばに開かれてから駅周辺にも商店が連たんするようになった発展過程があります。最近区画整理事業の一環で駅前改造が行われ、新しい商店街として飛やくするものと思われまます。

豊田駅周辺の商店街

国鉄中央線豊田駅北口周辺の商店街で区画整理による多摩平団地建設に伴って計画的につくられたもので、商店の形態、商品も都市的なセンスの強い商店街と言えます。

国道20号線に面した国鉄日野駅周辺の商店街



京王線高幡不動駅周辺の商店街



国鉄豊田駅前の商店街



花のあるまち

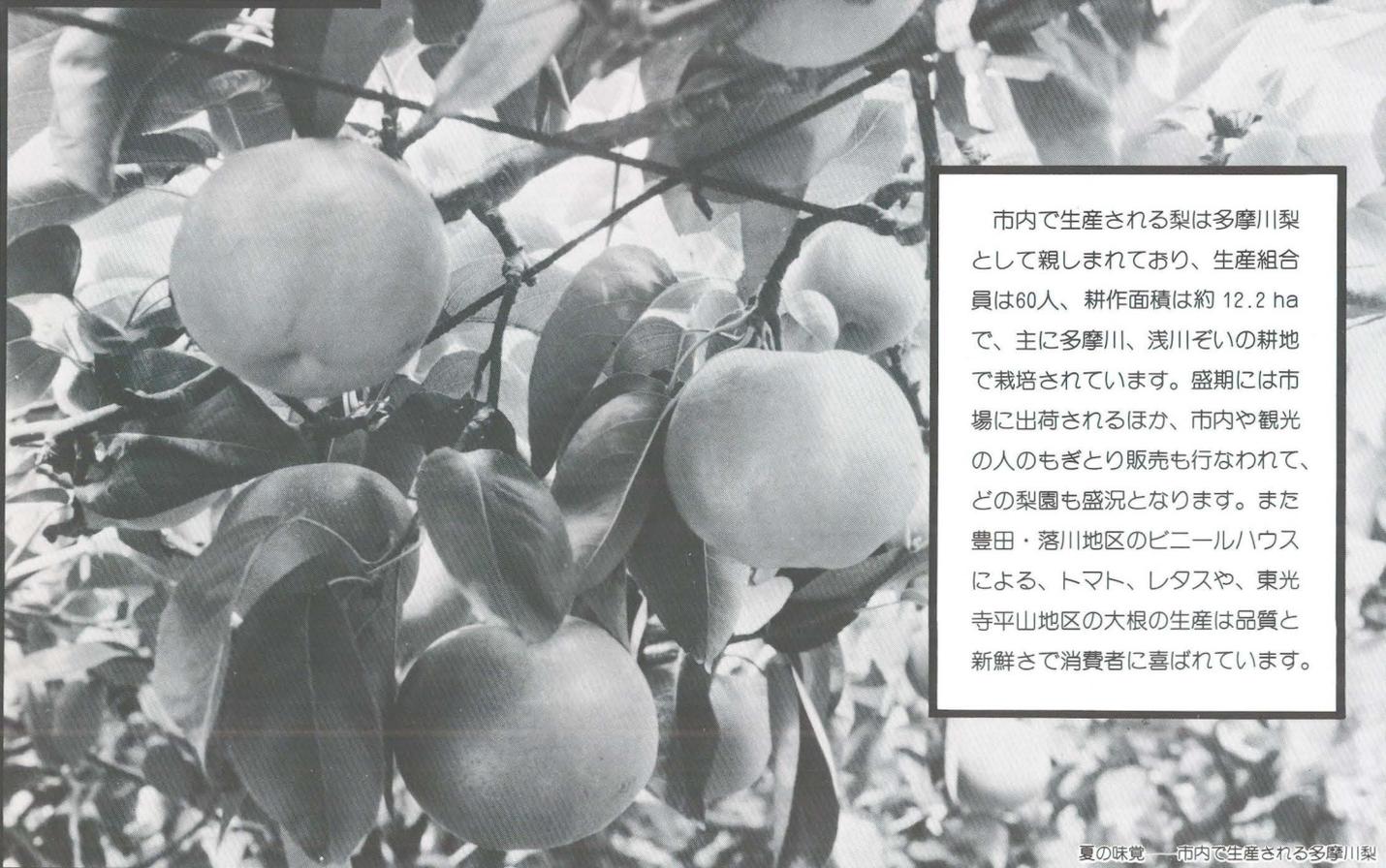
市内で栽培されるポットマム(西洋菊)



市内で栽培されるポットマム(西洋菊)

かつて豊かな水田で米作を誇った本市の農業も、都市化とともに様相が変わり、花き園芸等の新しい農業へと転換しつつあります。市内で花き園芸を経営する農家数は20を越え、シンビジウム等の洋蘭を始め、シクラメン、ポットマム、パンジー、その他庭木苗木等の生産が盛んで、優秀な農業技術が評価され、近隣の需用者から好評です。

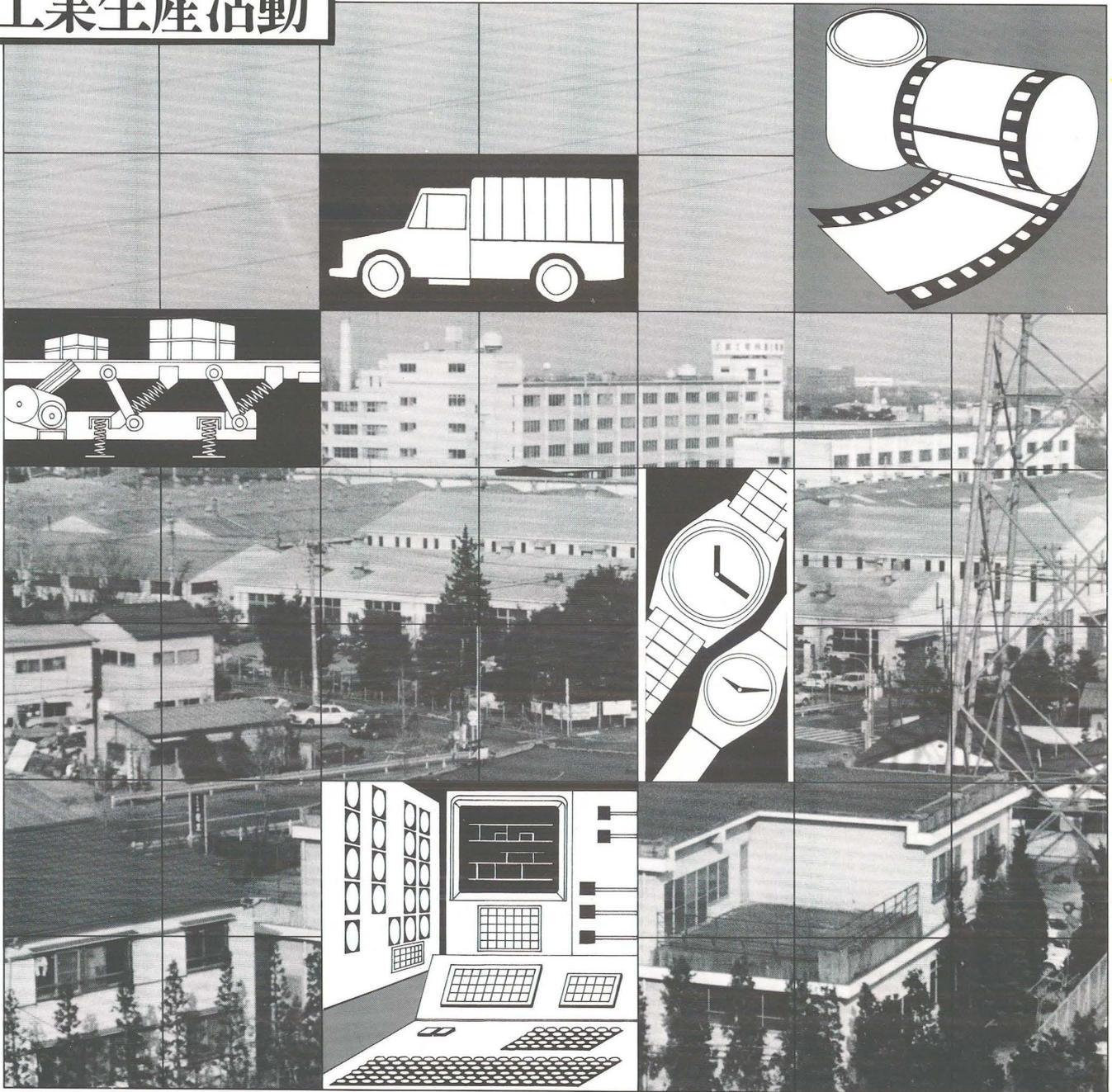
実のなるまち



市内で生産される梨は多摩川梨として親しまれており、生産組合員は60人、耕作面積は約12.2haで、主に多摩川、浅川ぞいの耕地で栽培されています。盛期には市場に出荷されるほか、市内や観光の人のもぎとり販売も行なわれて、どの梨園も盛況となります。また豊田・落川地区のビニールハウスによる、トマト、レタスや、東光寺平山地区の大根の生産は品質と新鮮さで消費者に喜ばれています。

夏の味覚——市内で生産される多摩川梨

工業生産活動



工場



市内製薬会社で働く中小企業労働者

昭和10年代本市は田園都市から、大工場保有市へと大きく変ぼうしました。現在の大型企業の大部はこの第1工業期に操業を開始したものです。その後昭和30年代半ばに平山台工業団地造成により積極的に工場誘致がはかられ、多くの工場が出現し第2工業期をむかえることとなり工業生産額は飛躍的に増大しました。現在の工場数は303（従業員数16,009人）に及び、その製造品出荷額は4,244億8千万円に達し、東京都26市の中でも高い位置にあります。



市民参加の市政をめざして

●市民自治に関する意識を高揚し、市民参加の市政を発展させるために／市民自治学園設置要綱



自治の発展を…市民自治学園

市民相談・対話集会

市政は市民みずからが参加してすすめるものである、との期本理念から、いくつかの市民参加の方策を実施しています。

●市民自治学園

昭和54年6月本市では市民自治学園を開設しました。これは、市政について市民に色々と学習してもらい、積極的な市政への参加を願い設けたもので、毎月2回3時間ずつの講座を市役所庁舎内で行っています。昭和54年度のカリキュラムは32時間で講座は市の幹部職員が当り、受講料は無料となっています。

●市民対話集会

市では毎月2回小学校区を単位として市民対話集会を行っています。これは会場となっている各地区センターに市長と幹部職員が直接出向き、参加される市民と、市政について意見の交換や地域の身近な問題についての要望等、ひざをつき合わせて話し合い、市政をすすめるなかで役立てようとするものです。数年にもわたり多くの実績を重ねています。

●市民相談

市ではつぎのような市民相談を行っています。なおこの問合せ、申込み等の詳細は、市広報の毎月1日号で案内記事をのせてあります。

◎一般市民相談◎法律相談◎行政相談◎交通事故相談◎人権身の上相談◎心配ごと相談◎健康相談◎ろう者相談◎高令者職業相談◎児童相談◎教育相談◎家庭教育相談◎消費者相談

どの相談も無料です。



市民対話集会



市民相談風景



毎年ひらかれる憲法記念行事



市内の施設等を見学する会
(年に4回無料です)

市政についての情報センター

市民自治のために

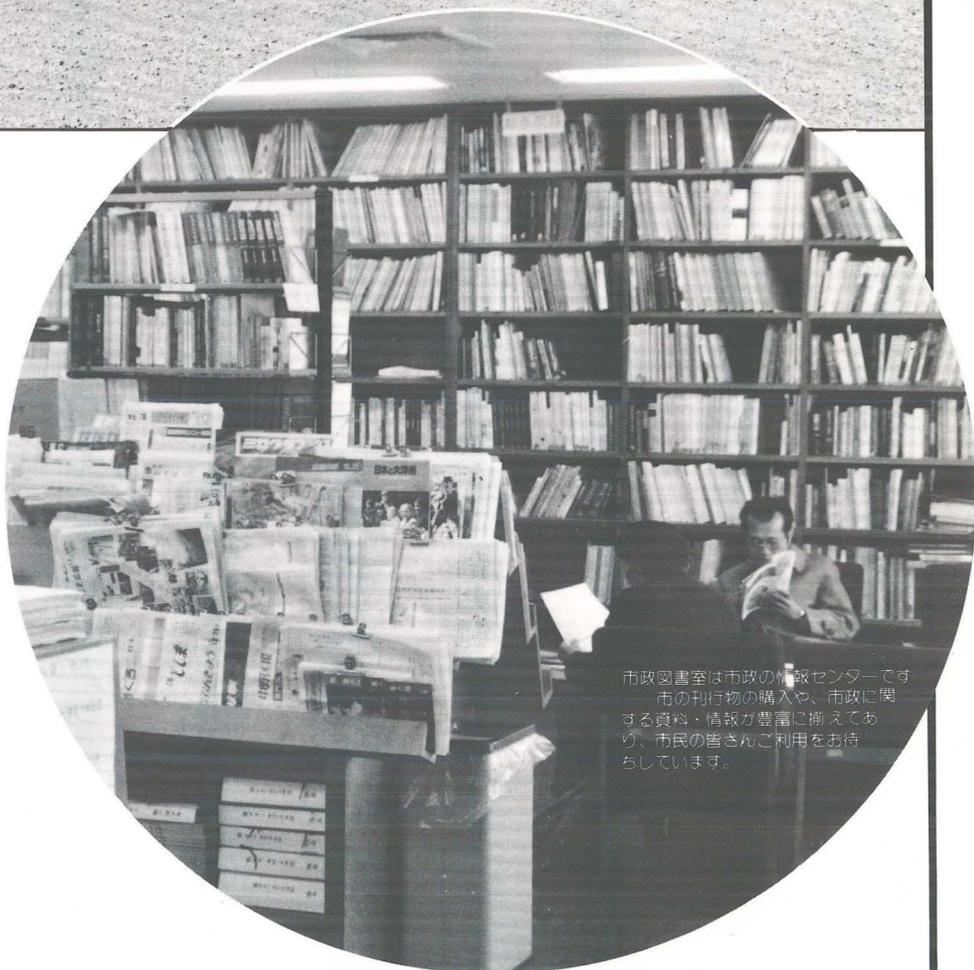
市民自治のセンター……市庁舎



市民が行政についての色々な知識や、情報を容易に得られるように、そしてその情報が市政に参加するための大きな力となるように、そんな願いをこめて新しい市庁舎の開庁と同時に発足したのが「市民の情報センター市政図書室」です。

この図書室は市庁舎の一階にあり、市民であれば、誰でもが無料で利用することができます。ここには日野市に関する行政資料は勿論のこと、国や東京都、他市の行政資料が豊富に利用しやすく整理、ストックされています。そして必要な記事のコピーは、短時間に実費で作成する設備もあります。また日野市が発行している種々の刊行物を展示頒布しております。

—市民の皆さんの
ご利用をお待ちしています—



市政図書室は市政の情報センターです。市の刊行物の購入や、市政に関する資料・情報が豊富に揃っており、市民の皆さんご利用をお待ちしています。

市政図書室で市刊行書が求められます



市刊行物総らん

市刊行物

日野市有償刊行物一覧

(昭和55年1月現在)

書名・資料名	編集・発行	規格	発行年月	価格(円)
都市計画図	都市整備部都市計画課	1万分の1	昭53.5	400
公共公益施設現況図	都市整備部都市計画課	1万分の1	昭53.5	150
白地図	都市整備部都市計画課	1万分の1	昭53.5	150
日野市の植生	日野の自然を守る会・公害対策課	B5・2冊・2図	昭51.3	4,000
日野市の植物ガイドブック	日野の自然を守る会・公害対策課	A5、210P	昭52.2	1,000
日野市の動物ガイドブック	日野の自然を守る会・公園緑政課	A5、205P	昭54.12	1,100
日野市史史料集・地誌編	日野市史編さん委員会	A5、460P	昭52.7	1,900
日野市史近世1 交通編	日野市史編さん委員会	A5、492P	昭53.3	1,900
日野市史近世2 社会生活・産業編	日野市史編さん委員会	A5、445P	昭54.12	2,000
日野市史近代1 行財政編	日野市史編さん委員会	A5、454P	昭51.6	1,700
日野市史近代2 社会・文化編	日野市史編さん委員会	A5、486P	昭54.3	2,000
広報ひの縮刷版2号昭46.8~49.3	総務部広報課	A4、244P	昭54.3	1,250
広報ひの縮刷版3号昭49.4~51.3	総務部広報課	A4、236P	昭54.3	1,200
広報ひの縮刷版4号昭51.4~53.3	総務部広報課	A4、306P	昭54.3	1,560
日野郷土かるた	日野郷土かるた編集委員会・市立図書館	46枚組	昭54.12	600
日野市事務報告書(昭53年度版)	総務部庶務課	B5、586P	昭54.12	3,500
とうけい日野'78(追録)	企画財政部企画課	B5、53P	昭54.3	300
日野市の商工業	企画財政部企画課	A4、170P	昭54.3	300

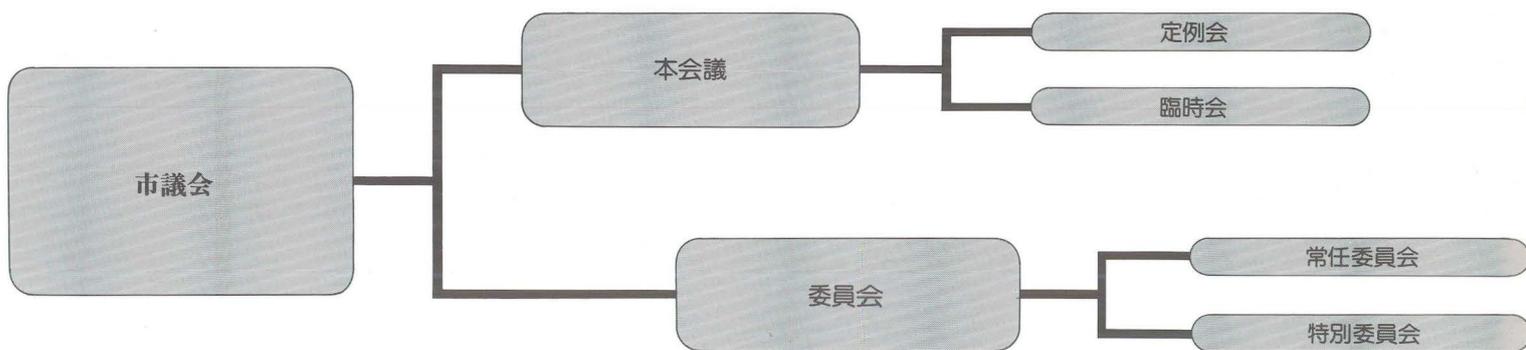
市

市政

議

の

会



推進役



市議会議長
秦 正一



市議会副議長
高橋 通夫



本会議開催中の市議会議場にて(昭和54年12月第4回定例市議会)

●日野市議会議員氏名(昭和54年12月1日現在)

●議席番号	●氏名	●所属委員会名	●会派別
1	黒川重憲	文教、跡地利用	公明党
2	市川芳太郎	○ゴミ問題、都市産業	公明党
3	秦正一	総務	公明党
4	飯山茂	○文教、ゴミ問題	市民クラブ
5	川嶋博	厚生、下水道	市民クラブ
6	中山基昭	○跡地利用、総務	市民クラブ
7	大柄保	都市産業、交通	市民クラブ
8	田中鯛一	○交通、文教	新政クラブ
9	藤林理一郎	○厚生、下水道	新政クラブ
10	谷長一	○総務、ゴミ問題	新政クラブ
11	名古屋史郎	文教、交通	日本社会党
12	本間久	厚生、下水道	日本社会党
13	鈴木美奈子	○都市産業、ゴミ問題	日本共産党
14	橋祐子	◎下水道、文教	日本共産党
15	板垣正男	◎総務、跡地利用	日本共産党
16	奥住芳雄	文教、交通	新政クラブ
17	石坂勝雄	総務、ゴミ問題	新政クラブ
18	滝瀬敏朗	◎都市産業、下水道	新政クラブ
19	林重義	◎跡地利用、厚生	新政クラブ
20	市川資信	○下水道、都市産業	新政クラブ
21	島村孝志	◎厚生、跡地利用	日本社会党
22	大越久雄	都市産業、交通	日本社会党
23	一ノ瀬隆	◎ゴミ問題、総務	日本社会党
24	竹ノ上武俊	◎交通、総務	日本共産党
25	米沢照男	厚生、下水道	日本共産党
26	杉山寅三郎	厚生、跡地利用	新政クラブ
27	高橋通夫	総務	
28	佐々木昭雄	文教、交通	新政クラブ
29	正国務	都市産業、跡地利用	新政クラブ
30	三浦重春	◎文教、ゴミ問題	新政クラブ

(◎委員長 ○副委員長)



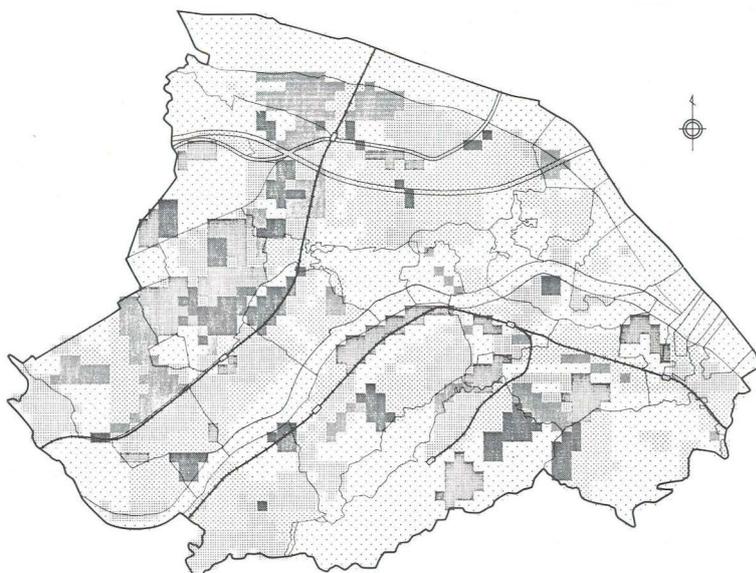
(昭和54年12月1日現在)

●人口の社会増、自然増

(住民基本台帳人口)

年	増加総数	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
49	4,735	2,842	451	2,391	14,811	12,467	2,344
50	3,881	2,449	444	2,005	13,131	11,255	1,876
51	5,368	2,437	435	2,002	15,981	12,415	3,366
52	5,262	2,481	484	1,997	14,504	11,239	3,265
53	3,519	2,482	498	1,984	14,091	12,556	1,535

●日野市情報図化(ジンコウミツド)



●昼間人口と夜間人口

(国勢調査 各年10月1日現在)

年	昼間人口	増加数	夜間人口	増加数	昼間・夜間人口の差
30	26,416	—	27,305	—	889
35	39,582	13,166	43,394	16,089	3,812
40	62,342	22,760	67,976	24,585	5,636
45	91,620	29,278	98,557	30,578	6,737
50	114,269	22,649	126,847	28,290	12,578

●人口と世帯数

(住民基本台帳人口 各年1月1日現在)

年	総人口			男		女		世帯数		
	総数(人)	増減(人)	前年比(%)	総数(人)	増減(人)	総数(人)	増減(人)	総数	増減	前年比(%)
50	122,575	4,735	4.01	62,731	2,185	59,844	2,550	40,767	1,345	3.41
51	126,456	3,881	3.16	64,726	1,995	61,730	1,886	42,231	1,464	3.59
52	131,824	5,368	4.24	67,226	2,500	64,598	2,868	43,743	1,512	3.58
53	137,025	5,201	3.94	69,900	2,674	67,125	2,527	45,614	1,871	4.27
54	140,244	5,219	2.34	71,972	2,072	68,272	1,147	46,782	1,168	2.56

●年齢(5才階級)別人口

(昭和54年1月1日現在)

年齢	総数(人)	構成比(%)	年齢	総数(人)	構成比(%)	年齢	総数(人)	構成比(%)
総数	140,244	100.00						
0~4	12,583	8.97	35~39	13,503	9.63	70~74	2,049	1.46
5~9	13,897	9.91	40~44	10,999	7.84	75~79	1,203	0.86
10~14	10,992	7.84	45~49	9,343	6.66	80~84	568	0.41
15~19	9,294	6.63	50~54	6,143	4.74	85~89	210	0.15
20~24	10,066	7.18	55~59	4,348	3.10	90~94	10	0.03
25~29	13,820	9.85	60~64	3,390	2.42	95以上	41	
30~34	14,384	10.25	65~69	2,901	2.07			

●産業別人口(国勢調査産業大分類別15才以上人口)

(各年10月1日現在)

年	総数	構成比(%)	第一次産業人口(農業等)	構成比(%)	第二次産業人口(製造・建設業等)	構成比(%)	第三次産業人口(サービス・小売業等)	構成比(%)
40	31,159	100.0	1,773	5.7	13,974	44.8	15,404	49.4
45	45,762	100.0	1,486	3.2	19,849	43.4	24,390	53.3
50	53,855	100.0	928	1.7	21,293	39.5	31,363	58.2

●地目別土地面積

(固定資産概要調査 各年1月1日現在 単位：㎡)

年	総数	田	畑	実地	山林	その他
50	27,110,000	2,866,216	3,070,265	9,476,160	2,004,827	9,692,532
51	27,110,000	2,736,519	2,781,261	9,690,520	1,928,888	9,972,812
52	27,110,000	2,194,227	2,391,715	10,060,692	1,870,963	10,592,403
53	27,110,000	2,182,599	2,279,169	10,100,601	1,850,240	10,697,391
54	27,110,000	2,170,278	2,166,936	10,185,427	1,829,938	10,757,429

●都市計画区域の用途地域別面積

(昭和54年1月24日改正)

用途地域	用途地域	面積(ha)	構成比(%)
	第1種住専	1,629	61
第2種住専	370	13	
住居	60	2	
近隣商業	26	1	
商業	21	1	
準工業	107	3	
工業	149	6	
河川	349	13	
計	2,711	100	
防火地域及び 準防火地域	第1種高度地区	1,802.7	66
	第2種高度地区	384.3	14
	第3種高度地区	21.0	1
	無指定	154.0	6
	計	2,362.0	87
高度地区	防火地域	21	1
	準防火地域	694	26
	計	715	27

●町名地番整理実施状況

町名	面積(ha)	丁目数	施行年月日
多摩平	134.0	6	昭40.4.28
日野台	91.0	6	昭43.11.15
富士町	11.0	1	昭43.11.15
さくら町	13.0	1	昭43.11.15
新町	74.0	5	昭45.7.1
栄町	155.0	5	昭45.7.1
平山	128.0	6	昭46.7.1
東平山	63.4	3	昭46.7.1
西平山	110.8	5	昭46.7.1
豊田	94.4	4	昭47.7.1
東豊田	81.1	4	昭47.7.1
旭が丘	128.0	6	昭48.7.15
南平	194.0	9	昭50.7.1

●国鉄・私鉄の一日平均乗降客数

(単位：人)

年	券区分	国鉄(中央線)		私鉄(京王線)				
		日野	豊田	百草園	高幡不動	南平	平山城跡	多摩動物園
50	定期外	8,356	12,691	2,552	9,072	1,638	2,418	3,393
	定期	21,963	30,308	4,171	20,285	4,427	4,308	8,251
51	定期外	8,710	12,549	2,653	9,879	1,825	2,421	3,335
	定期	23,210	31,160	4,453	21,482	4,856	4,440	9,149
52	定期外	8,971	12,245	2,640	10,493	1,987	2,506	3,336
	定期	22,831	32,863	4,432	21,835	4,975	4,649	9,489
53	定期外	9,574	13,629	2,841	12,124	2,576	3,444	4,903
	定期	27,144	37,235	3,932	26,122	5,742	8,888	23,602

資料編 3 保健・医療・ごみ

●市内の医療施設

(各年12月末現在)

区分	年度	49	50	51	52	53
病院	施設数	7	7	7	7	7
	病床数	1,010	1,010	1,026	993	930
診療所	施設数	73	74	76	79	85
	有床(再掲)	17	17	19	19	19
	病床数	120	120	136	136	136
歯科診療所		40	38	39	42	45
助産所	施設数	5	5	5	4	4
	有床(再掲)	1	1	1	1	1

●市立総合病院外来・入院年間延患者数

(単位：人)

区分	年度	内科	小児科	外科I	外科II	整形外科	皮フ科	産科	眼科	耳鼻科	合計
外来	51	27,184	23,404	7,751	6,325	23,785	4,054	9,548	10,557	3,994	116,602
	52	30,569	22,799	8,644	6,530	27,393	4,625	12,037	11,523	3,618	127,738
	53	31,387	18,386	8,399	5,918	25,210	5,365	12,856	10,738	4,200	122,459
入院	51	20,941	6,418	2,153	2,772	6,526	0	4,631	714	26	44,181
	52	19,449	6,245	1,879	2,516	7,408	0	4,857	619	6	42,979
	53	18,404	5,318	1,536	3,215	6,959	0	4,966	526	6	40,930

●公害苦情の状況

(単位：件)

年度	受付数	処理件数	発生源別				現象別								
			工場	指定作業所	特定建設作業	その他	ばい煙	粉じん	有毒ガス	汚水	騒音	振動	悪臭	その他	
50	107	96	26	12	4	65	15	10	—	13	51	3	24	15	
51	71	66	20	6	6	39	7	1	1	7	31	4	17	5	
52	56	51	10	11	2	33	5	2	1	3	31	5	9	1	
53	67	65	13	4	2	48	4	4	1	9	29	3	12	8	

●ごみ収集量の状況

(単位：t)

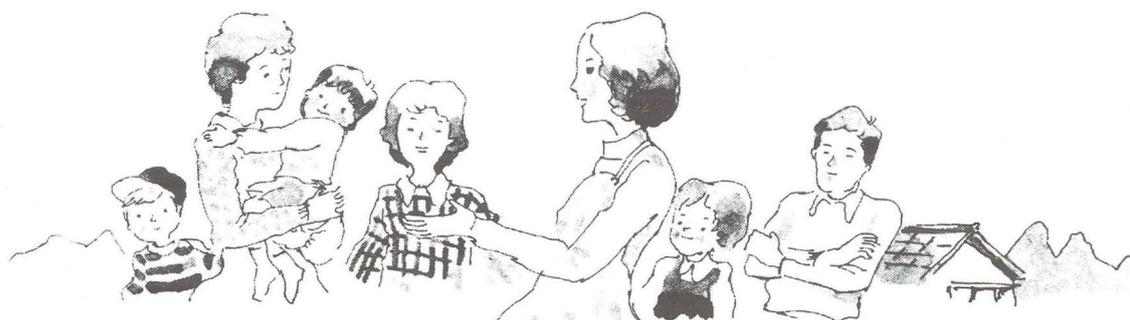
区分	年度	50	51	52	53
粗大		2,791	2,609	2,655	3,016
雑芥		1,132	1,049	984	903
混合		22,711	22,237	23,449	27,337
小計		25,934	25,995	27,088	31,256
不燃物(1)		4,252	4,483	5,025	5,450
不燃物(2)		1,283	968	512	164
小計		5,535	5,451	5,537	5,614
合計		31,469	31,446	32,625	36,870

※不燃物(1)=金物、ガラス、廃プラ類、不燃物(2)=ガレキ類

●し尿処理方法別人口

年度	区分	総人口	汲取人口	浄化槽人口	公共下水道人口
50		126,355	69,914	38,325	18,116
51		132,435	70,690	43,467	18,278
52		136,878	59,813	58,536	18,529
53		139,205	45,766	74,809	18,630

※各年度3月31日現在



資料編 4 教育・福祉

●市立小学校 (54.5.1現在)

小学校名	学級数	児童数
日野第一小学校	26	1,040
日野第二小学校	25	998
日野第三小学校	19	737
日野第四小学校	22	866
日野第五小学校	27	1,040
日野第六小学校	23	881
潤徳小学校	20	770
平山小学校	22	862
日野第八小学校	36	1,458
百草台小学校	21	794
滝合小学校	27	1,050
高幡台小学校	24	901
日野第七小学校	15	531
南平小学校	22	837
程久保小学校	18	707
旭が丘小学校	21	832
平山台小学校	18	678
東光寺小学校	15	545
合計	401	15,527

●市立中学校 (54.5.1現在)

中学校名	学級数	生徒数
日野第一中学校	27	1,120
日野第二中学校	26	1,101
七生中学校	24	962
日野第三中学校	24	997
日野第四中学校	25	1,064
三沢中学校	15	575
合計	141	5,819

●市立幼稚園 (54.5.1現在)

幼稚園名	学級数	園児数
第一幼稚園	7	277
第二幼稚園	3	118
第三幼稚園	3	117
第四幼稚園	2	46
第五幼稚園	3	92
第六幼稚園	3	90
合計	21	740

●市営プール利用者数

年	小人	大人	計(人)
50	46,379	14,443	60,822
51	39,729	13,111	52,840
52	38,209	11,488	49,697
53	55,396	20,966	76,362
54	36,709	12,912	49,621

●市立児童館 (53.4.1～54.3.31)

児童館名	年間利用者数
ひの児童館	23,691
もぐさだ児童館	41,120
ひらやま児童館	23,573
合計	88,384

●市立図書館貸出冊数 (53.4.1～54.3.31)

図書館名	成人	児童	計(冊)
中央図書館	196,592	101,921	298,513
多摩平図書館	5,546	36,776	42,322
高幡図書館	46,107	42,204	88,311
福祉図書館	28,718	34,639	63,357
社会図書館	50,794	22,918	73,712
平山図書館	21,218	23,393	44,611
百草図書館	974	25,703	26,677
移動図書館	134,854	222,239	357,098
合計	480,808	509,793	994,601

●視聴覚資料・機材貸出数 (53.4.1～54.3.31)

資料・機材名	貸出数	保有数
レコード	2,370枚	450枚
8ミリフィルム	47巻	323巻
スライドフィルム	15巻	135巻
16ミリ映写機	112台	5台
8ミリ映写機	45台	2台
スライド映写機	17台	3台
スクリーン	64本	6本
暗幕	62本	20枚

●市立保育園 (54.5.1現在)

保育園名	3才以上	3才未満	計(人)
とよだ保育園	98	27	125
たかはた保育園	97	16	113
たまだいら保育園	111	26	137
ひらやま保育園	86	16	102
あらい保育園	65	15	80
みさわ保育園	92	23	115
たかはただ保育園	107	27	134
みなみだいら保育園	113	32	145
あさひがおか保育園	68	31	99
もぐさだ保育園	65	34	99
おおくぼ保育園	63	36	99
しんさかした保育園	54	26	80
計	1,019	309	1,328

●市立学童保育所(学童クラブ) (54.5.1現在)

クラブ名	児童数(人)	対象小学校区
ふたば	39	1小、4小
さくら第1	31	6小、7小
つくし	52	平山小、平山台小
さくら第2	45	5小
もぐさ	51	百草台小、8小
たかはただ	52	高幡台小、程久保小
じゅんとく	35	8小、潤徳小
たんぼぼ	38	二小、南平小
たきあい	42	滝合小
あさひがおか	37	旭が丘小
ひのだい	39	3小、7小、東光寺小
合計	461	

●会計別決算額の推移(歳入)

(単位:円)

区分	年度	50	51	52	53
一 般 会 計		10,963,153,799	15,748,617,848	19,142,607,566	18,968,493,992
国民健康保険特別会計		967,674,720	1,160,271,196	1,330,706,434	1,610,924,792
都市計画事業特別会計		477,035,604	631,098,022	636,603,852	1,167,422,311
下水道事業特別会計		80,638,541	75,587,248	892,212,207	119,090,251
市立総合病院事業特別会計		916,969,214	1,030,841,898	1,077,405,757	1,163,641,101
受託水道事業特別会計		747,284,954	658,634,935	690,834,993	787,039,252
農業共済事業特別会計		8,962,360	9,576,451	14,090,315	15,941,607

●財政指標の推移

区分	年度	50	51	52	53
基準財政需要額(千円)		3,844,131	4,954,187	5,808,734	6,787,818
基準財政収入額(千円)		3,358,762	4,409,922	5,682,339	6,426,245
標準財政規模		4,951,578	6,391,623	7,663,133	8,974,725
財政力指数(%)		0.92	0.89	0.93	0.94
実質収支比率(%)		4.0	2.9	3.1	4.2
公債費比率(%)		6.9	7.8	8.6	10.2
積立金現在高(千円)		491,825	803,744	710,243	1,105,150
地方債現在高(千円)		3,474,628	7,062,115	11,177,901	13,999,988

●市税の推移

(単位:千円)

区分	年度	50		51		52		53	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
市民税	個人分	2,177,720	39.3%	2,719,674	39.2%	3,227,318	39.7%	3,927,824	41.3%
	法人分	571,412	10.3	1,115,660	16.1	1,218,659	15.0	1,344,478	14.2
固定資産税		1,999,525	36.1	2,348,297	32.4	2,622,661	32.3	2,865,121	30.2
軽自動車税		15,838	0.3	19,110	0.3	18,812	0.2	19,585	0.2
市町村たばこ消費税		218,034	3.9	212,276	3.0	316,029	3.9	350,232	3.7
電気税		158,329	2.9	191,010	2.8	225,509	2.8	237,336	2.5
ガス税		16,801	0.3	19,518	0.3	15,657	0.2	13,365	0.1
特別土地保有税		46,360	0.9	35,396	0.5	33,370	0.4	31,978	0.3
目的税(都市計画税)		332,236	6.0	377,946	5.4	448,626	5.5	708,976	7.5
合 計		5,536,255	100.0	6,938,887	100.0	8,126,641	100.0	9,498,876	100.0

●普通会計決算額の推移(目的別歳出)

(単位:千円)

区分	年度	50		51		52		53	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
議会費		133,983	1.2%	148,861	1.0%	180,976	0.9%	201,367	1.1%
総務費		1,898,518	17.2%	3,546,666	22.5	3,098,228	17.4	2,608,256	13.6
民生費		2,420,724	21.9	2,775,087	17.6	3,098,228	16.1	3,557,293	18.5
衛生費		1,077,387	9.7	1,106,697	7.0	1,535,742	8.0	1,865,118	9.7
労働費		5,951	0.1	5,609	0.0	1,688	0.0	6,434	0.0
農林水産業費		79,556	0.7	61,051	0.4	71,602	0.4	78,933	0.4
商工費		57,392	0.5	58,576	0.4	66,044	0.3	63,876	0.3
土木費		1,551,807	14.1	2,135,460	13.6	2,213,252	11.5	3,396,332	17.7
消防費		262,100	2.4	305,707	1.9	365,724	1.9	488,624	2.5
教育費		3,078,166	27.9	5,038,803	32.0	7,463,262	38.8	5,617,073	29.2
災害復旧費		8,606	0.1						
公債費		461,540	4.2	771,532	3.6	895,173	4.7	1,347,689	7.0
諸支出金						4,969	0.0	6,237	0.0
合 計		11,035,730	100.0	15,754,049	100.0	19,245,414	100.0	19,237,232	100.0

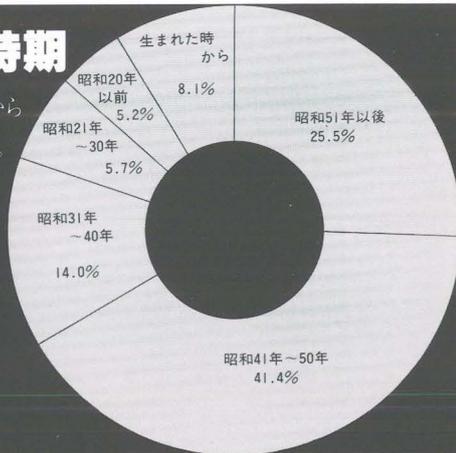
日野市住民意識調査

●日野市住民意識調査の中から抜粋

この住民意識調査は昭和54年11月に専門機関に委託して行ったものです。対象者は日野市在住の20以上の男女1000人で、34項目についてカードおよび個別面接法によって行ったものです。

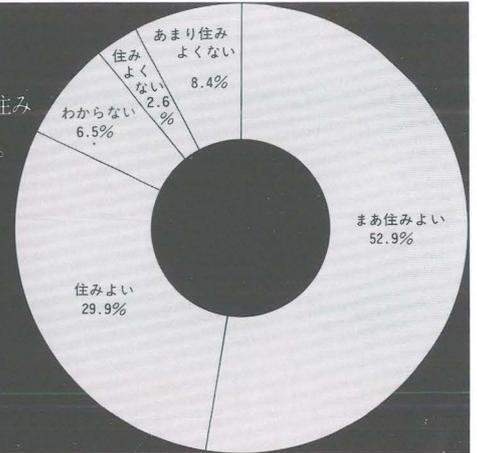
居住開始時期

●あなたは、いつごろから日野市に住んでいますか。



住みよさ

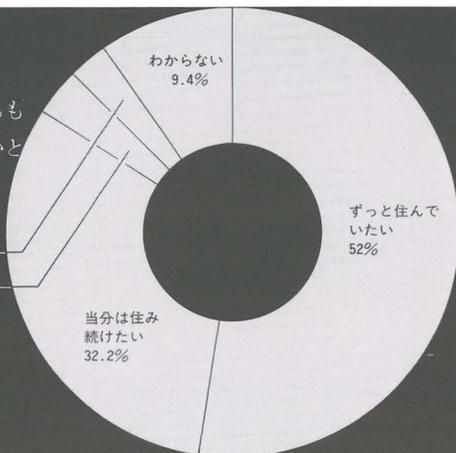
●あなたは、日野市は住みよいかと思いますか。



定住意向

●あなたは、これから日野市に住んでいたいと思いますか。

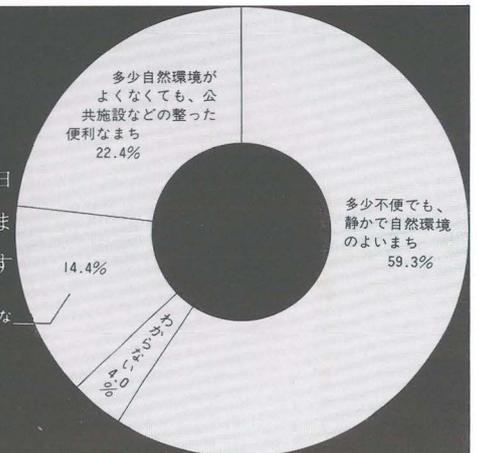
1年以内に転出のつもりで
できれば市外へ移りたい



日野市の将来像

●あなたは、将来の日野市は、どのようなまちであってほしいですか。

買物やレジャーに便利な
活気あるまち



日野市に必要な施設

●あなたは、今の日野市にはとくにどんな施設が必要だと思いますか。この中から3つまで選んでください。



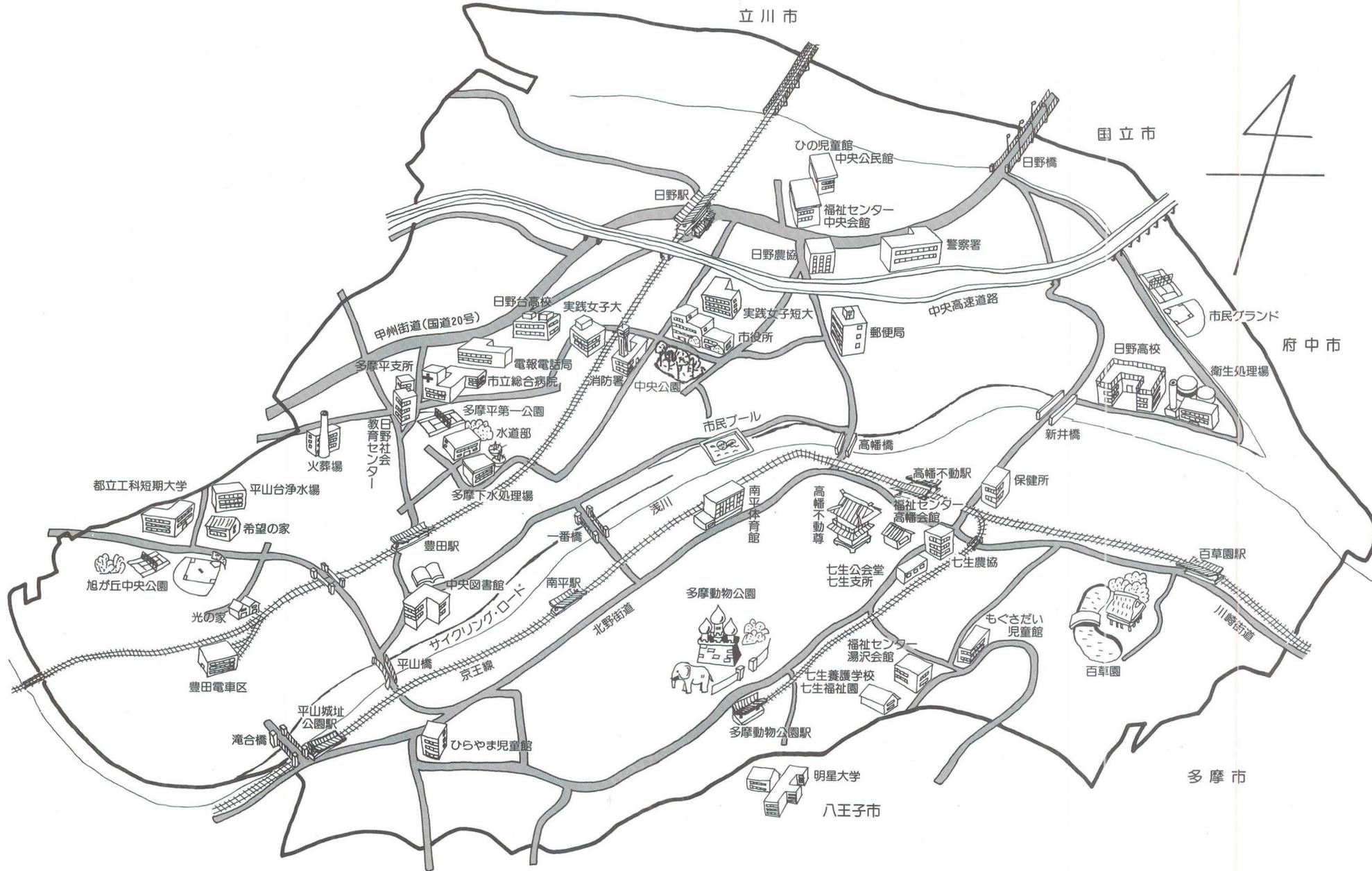
力を入れるべき施策

●あなたは、市政全体から見て、この中のどれに力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んでください。



わたしたちのまち日野市

●位置：北緯35度38分～35度41分／東経139度21分～139度26分 ●面積：27.11Km²／東西に7.59Km／南北に5.85Km



1974

昭和49年

- 1月 市の木「かし」、市の花「きく」が決まる。
- 2月 市議会議員選挙
物価高騰に対処市民生活安定対策本部を設置

- 4月 南平小学校開校、第5幼稚園開園
日野市土地開発公社設立

- 5月 あさひがおか保育園開園
盲人向広報テープ発行

- 6月 水道事業が東京都に統合される。
日野市の人口12万人を越す

- 9月 災害弔慰金、援護資金条例を制定

- 4月 難病福祉手当制度発足
程久保の湯沢会館オープン

- 5月 日野市消費者団体連絡会スタート
訪問学級を第5小学校に設置

- 6月 用水汚濁防止に監視員制度発足

- 7月 南平地域の町名地番整理事業を実施

- 10月 国勢調査実施
医療と福祉をすすめる会発足

- 11月 障害者の作業所「ひの共同作業所」新設

- 1月 下水道調査会発足
保育料協議会答申

- 4月 公共水域の流水の浄化に関する条例、緑化推進保全に関する条例施行
第6幼稚園開園

- 5月 住宅改良資金制度発足
もぐさだい保育園開園
難病集団検診実施

- 7月 障害者に市民プール開放

- 9月 行政調査研究会中間報告、下水道調査会答申

- 10月 13万人目の市民誕生
日野市史史料集近代1発刊

- 3月 日野の植物ガイドブック発刊

- 4月 程久保小学校、旭が丘小学校、三沢中学校開校
おおくぼ保育園開園
市長選挙

- 7月 下水道基本方針(案)策定、日野市史史料集地誌編発刊

- 9月 老人契約旅館制度発足

- 10月 新庁舎開庁

- 12月 市民参加の市政をすすめるための市政図書室が庁舎にオープン

- 1月 私立高校進学者に対する入学資金貸付制度スタート

- 2月 市議会議員選挙
- 4月 平山台小学校開校
市民葬儀利用券制度スタート

- 6月 高令者事業団説明会始まる
日野市史史料集近世1 交通編発刊

- 10月 下水道事業基本方針決まる、資源ゴミ回収始まる

- 11月 日野市住みよいまちづくり指導要綱施行
14万人目の市民誕生

1975

昭和50年

1976

昭和51年

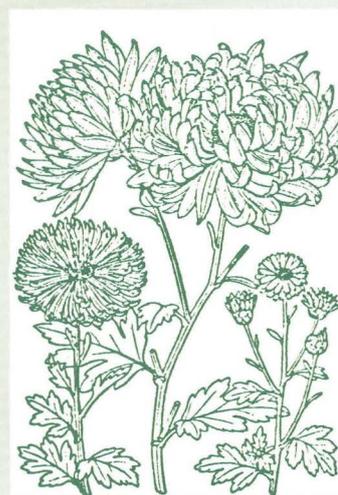
1977

昭和52年

1978

昭和53年

●市の花「きく」昭和49年1月制定



●市の木「かし」昭和49年1月制定



市の木・市の花の図は「牧野新日本植物図鑑」(牧野富太郎著)による。

日野市市勢要覧1979年版

●発行 / 日野市1980年3月
日野市日野6230
(0425)85-1111

●企画編集 / 日野市役所総務部
広報課

●レイアウト / 共同印刷株式会社
販売企画制作室

●印刷 / 共同印刷株式会社

- い いちばんは、高幡不動、初もうで
- ろ 労多し、農兵隊長、彦五郎
- は パパママ行こう、多摩動物園に、ピクニック
- に にぎわいは、本陣旅籠、継ぎたて場
- ほ 堀之内、むくの大木、日枝神社
- へ 別府太郎、白馬伝説の、宮の森
- と 遠き世の、泉のほとり、遺跡群
- ち 中世を、生きし西党、日奉氏
- り 両鉄道、駅七つある、日野のまち
- ぬ 沼あれ地、耕地整理の、豊田地区
- る 類のない、しいのき群と、八幡宮
- を いにしえを、伝える古墳、七つ塚
- わ 輪にまわす、念仏講の、こもり堂
- か 樅と菊、日野は緑と、花のまち
- よ 用水の、恵みでみゆる、米どころ
- た 多摩丘陵、緑ゆたかに、ひらけゆく
- れ 霊灸は、阿弥陀如来の、安養寺
- そ 宗印寺、日奉えんめい、地藏そん
- つ 月あかり、尊き百草聖観音
- ね ねはん図と、もちあげ観音、宝泉寺
- な 鳴き龍に、願いをこめし、金剛寺
- ら ランプから、電気になった、大正五年
- む ムクとカヤ、とうかん森は、こんもりと
- う うまい柿、ひとり地藏の、南平
- の 野に地藏、馬頭観音、庚申塔
- お 落川に、高札場跡あり、川むすぶ
- く 桑ばたけ、今は住宅、工場群
- や やりとげた、平山おかほの、丈太郎
- ま 万願寺、江戸より十里の、一里塚
- け 源平で、名も平山の、武者所
- ふ 文永に、維盛伝説のある、大板碑
- こ 甲州道、日野の渡船は、十三文
- え 枝栗に、安産祈る、薬師堂
- て 手ぶりよく、おどる粉屋の、豊年まつり
- あ 秋まつり、八坂神社の、大みこし
- さ 讃誉さん、色葉でといた、説法集
- き 教育に、力をこめた、郷学校
- ゆ 祐翁は、狂歌俳句に、名をのこし
- め 名物は、鵜飼いの鮎の、玉川亭
- み 三沢には、御用小梅と、十騎衆
- し 新撰組、剣の土方、日野生まれ
- ひ ひまわり号、みんなの夢を、はこぶバス
- も 百草園、春によし、また秋によし
- せ 戦国の、武将をしるのぶ、加賀の塚
- す 救われて、うなぎを食べぬ、日野四つ谷
- ん 民けんた、自由生まれし、日野のさと

日野市

